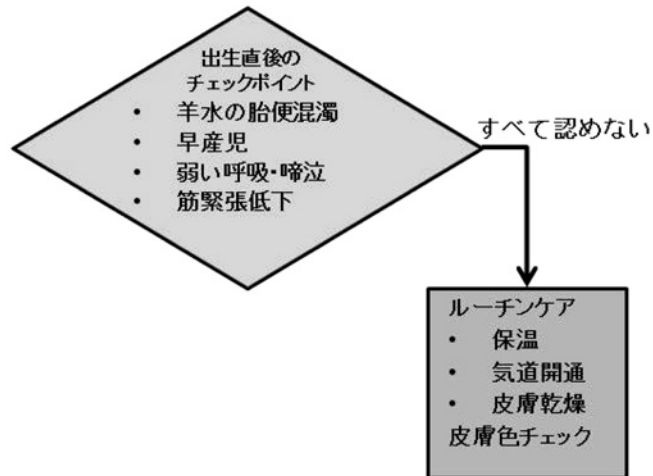


1. 出生後の評価—1

出生直後の児の状態の評価



(日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会作成)

(1) 出生直後のチェックポイント

- 1) 羊水の混濁はないか？
- 2) 成熟児か？
- 3) 呼吸や啼泣は良好か？
- 4) 筋緊張は良好か？

以上の4項目がすべて問題無ければルーチンケアを行う。

↓

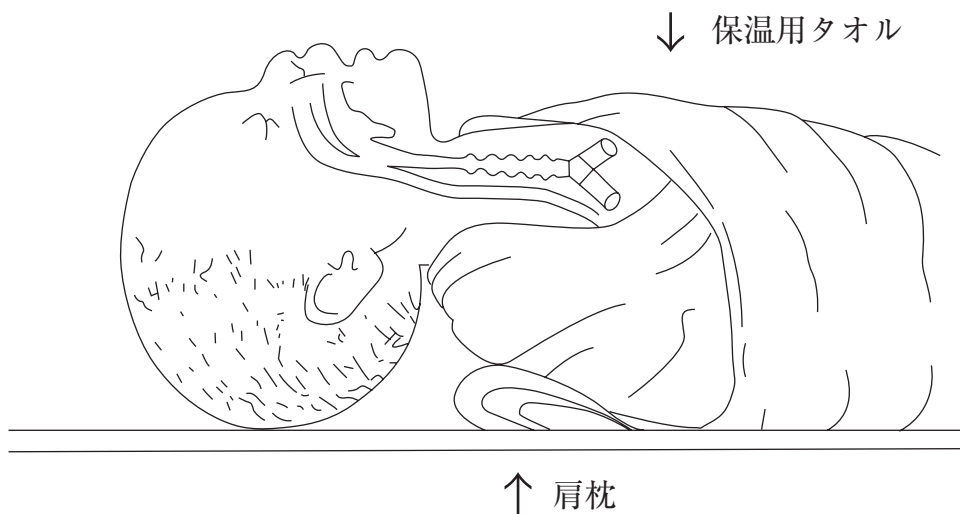
(2) ルーチンケア

- 1) 保温と乾燥：皮膚の羊水を拭き取る。
- 2) 気道開通：ゴム球式吸引器か吸引カテーテル（12か14 Fr）で、口腔、次に鼻腔を吸引する*。

*粗暴な吸引は喉頭痙攣や迷走神経反射による徐脈、反射性無呼吸発作を誘発するので、やさしく行うこと。

*肩枕などを用い、“sniffing” position（鼻でにおいをかぐ姿勢）をとらせると気道確保の体位をとりやすい。

Sniffing position



(3) 即時診察

- 1) Apgar スコア* : 心肺および神経学的機能評価
- 2) 外表奇形、成熟度、疾病の有無の評価
- 3) 保温をわすれずに

1) Apgar スコア

	0点	1点	2点
心拍数	なし	100/分未満	100/分以上
呼吸	なし	緩徐、不規則	良好、啼泣
筋緊張	なし	四肢をわずかに屈曲	活発に運動
反射	なし	顔をしかめる	咳、くしゃみ
皮膚色	蒼白、全身チアノーゼ	四肢のみチアノーゼ 躯幹淡紅色	全身淡紅色

*アプガー採点法は出生1分、5分、10分後における児の状態を数値で表す客観的な方法で、新生児の全身状態を評価するのに有用である。

しかし、蘇生の必要性やいつどのように開始するかを判断するためには役立たない。